

平成27年度 緑の交流サロン報告書

(公財)川崎市公園緑地協会では、川崎市内で活動をされている緑の活動団体の方々に、団体間の交流や情報の交換を行い、課題の解決や活動団体間の連携に繋げていくことを目的として平成23年から「緑の交流サロン」を開催してきました。過去4年間のサロンでは、活動団体間での交流を目的とした意見交換会を行い、日頃の活動や困っていること、楽しみにしていることなどを話していただきました。

5年目を向かえる平成27年度のサロンでは、第1回に「たね団子づくり」第2回に「春の花壇デザイン」、第3回に「やさしい樹木診断」をテーマとして設定し、講演、専門家への質問会、ワークショップや実習を通して、団体が抱える課題解決の方策や活動に生かせるアイデアなどを学んでいただきました。

サロンスケジュール

- ① 開会の挨拶、スタッフ紹介
- ② 参加者紹介
- ③ 講師のお話
- ④ 実習
第1回：たね団子づくり
第2回：花壇デザインワークショップ
第3回：樹木診断実習&解説
- ⑤ 質問コーナー
- ⑥ まとめ
- ⑦ 閉会の挨拶

講師を務めていただいたお二人



企業における緑の社会貢献事業のサポート、都立公園におけるボランティア育成講座などに取り組んおられる、NPO法人 Green Works の牧野ふみよさん、横浜市で公園緑地事務所長等を務め、樹木医の活動を行っておられる樹木医の岡澤信一さんに講師を務めていただきました。

	テーマ	参加者数	日時	場所
第1回	たね団子づくり	25団体 (43名)	平成27年9月30日 (水)	川崎市総合自治会館 ホール
第2回	春の花壇デザイン	26団体 (44名)	平成27年12月9日 (水)	川崎市総合自治会館 ホール
第3回	やさしい樹木診断	13団体 (21名)	平成28年1月13日 (水)	川崎市総合自治会館 ホール



たね団子



花壇デザイン



樹木診断



サロンの様子

第1回 緑の交流サロン 「たね団子づくり」



たね団子は、土と肥料を混ぜてよく練った団子に、花の種を練り込んで、それを花壇やプランターに植える形で行う新しい種まきの方法です。

団子づくりは、材料や作り方を工夫して、子どもから高齢者まで誰でも気軽に楽しむことができます。作ったたね団子は持ち帰っていただき、ご自分の花壇やプランターに植えて、生長を楽しんでいただきました。

第2回 緑の交流サロン 「春の花壇デザイン」



平面で考えることが多い花壇のデザインを、出来上がる花壇の風景をイメージして、立体的に考えました。植物の形や大きさの特徴を抽象化したパーツを使うことで、植物の知識の有無に関わらず誰でも参加でき、みんなでイメージを共有しながらデザインを考えることができます。

グループ毎に、春に咲かせたい理想の花壇を考えていただき、素敵な花壇のデザインが出来上がりました。

第3回 緑の交流サロン 「やさしい樹木診断」



公園や樹林地を管理する上で、日頃から樹木の健全度（健康状態）を点検・観察することは重要です。樹木の状態や病気のサイン、周辺の環境をチェックすると、簡単に樹木の健全度を診断することができます。また、健全度がわかると、必要な処置を行うことができます。

実習を通して、樹木を診断するポイントや樹木を健康に保つための秘訣を学んでいただきました。

本年度も多くの方にご参加いただき、楽しく交流ができました。
みなさんご参加いただき、ありがとうございました！

詳細は、ヒント集をご覧ください。

